

やないづ 議会だより

第125号
平成22年(2010)
12月定例会報告

発行日：平成23年1月28日
福島県柳津町議会
(0241)42-2390
編集 議会広報編集委員会

12月定例会…12月15日～17日

第4回臨時会…11月26日

議案審議

予算・条例 2

一般質問

- ・高齢者福祉 3議員が問う！ 4
- ・事業会計(特別会計)の健全化
- ・異常気象に対する農業政策の確立

委員会レポート・お知らせ 10



行政評価システムに係る議員と役場管理職との合同研修会



1番 横田 善郎議員

事業会計（特別会計）の健全化

簡易水道、各下水道特
別会計は、整備計画の事
業はほぼ完了しています。

しをすると明言している
町村がいくつもあります。

A (総務課長) 植
償分も所得の対象になつ
になるのが原理原則になつ

A (町長) 今言わ
れたように大変こ
れは足かせになつてゐる

- 事業会計(特別会計)の健全化
- 地域農林産物の6次産業化

A (町長) 国民健
康保険事業会計で
すが、平成21年度の医療
給付費は4億700万円
です。医療費の増加によ
り基金から繰り入れをし
て補てんしています。国
保の基金は21年度末で1
億1,500万円ですが、
毎年基金を取り崩すのは
好ましくないので、医療
給付費の削減を図るため、
健診率の向上、疾病の内
容等を調査して予防事業
に努め、国保事業会計の
健全化に努めていきたい
と思っています。

町の国保税が非常に高いということで、政策的に、これ以上国保税を上げたのではなく保世帯にとつてもとても負担し切れないでの、町の経済に及ぼす影響が大きいから、赤字繰り出

さらに町で5,000田足しています。これらは農業所得とみなすのか、それとも一時所得とみなすのか。国保税の対象になるのかお尋ねします。

け水道や下水道等を使つてもらうとか、そういうふたすべての面に対しても直しをかけて現状をとらえるべきではないかと申いますが、町長はどうお考えでしようか。

Q 次産業化
町では、菜種・
二シニクなどの生
産拡大、商品化及び振興
公社や軽トラ市等による
販売の促進、また各種の
都市との交流を通じ、農

Q 人口の減少、少子高齢化、地域経済の落ち込みで、住民生活と密着した特別会計の悪化が危惧されます。本来独立採算が基本の事業会計ですが、近い将来好転する見込みは全くない現状ではないでしょうか。

特に国保会計、簡易水道、各種の下水道会計の現状と今後の会計維持方針を伺います。

簡易水道事業は、維持管理費が年間3,100万円程度が掛かり、一般会計から繰り入れをしていますので、財源の確保と維持管理経費の節減に努めていきたいと思います。

下水道事業は、維持管理費が年間700万円程度掛かっています。農業集落排水事業は、維持管理費が年間1,100万

あるのかないのか、町長の考えを伺います。

ています。一応そういう
た部分は雑所得扱いにな
っています。一般的にはそ
ういった分も所得になる
ので、国保税も町民税の
所得によって課税になる
ので、一般的に言えば課
税の対象になるということ
とです。

ことは間違いないのです
が、何としても加入率を
上げていきたいということ
とで、これからも本気で
やっていきたいと思いま
す。

私は、まずは後継ぎが
この柳津町に残っていた
だきたい。そして高齢者
の皆さんのがひとり暮らし
二人暮らしへはいるんです
が、必ず若い人がその家
族にはいるので、この皆

地域農林産物の 次産業化

一般質問

産物消費拡大を図り、農業の6次化を進めていることは評価されるところですが、まだ規模は小さく、この取り組みを地域産業の核として発展させることは、これからも行政の取り組みが必要と思われます。

国でも6次化・地産地消法を成立させました。これを機に、町長は農業の6次化をどのように進めるのか伺います。

A (町長) 当面地域における地産地消戦略の方針と、それに基づく直売所の強化やネットワーク化、加工による高付加価値化、学校給食等への地場農産物の安定供給などの取り組み、またこれらに必要な直売所、加工処理施設の整備が必要かと考えています。起業者を募り、国、県の制度利用と町のバックアップにより、加工販売施設と観光集客施設の両面を備えた施設として整備、支援をしていくことを考えています。幅広く制度のPRを行いながら、販

売方法、直売所を充実し、会員の募集継続と、現在ある直売所、軽トラ市の中活用による地産地消の推進、また物産・観光トラック事業やJAの会津青果を窓口とした関東圏への直販事業等、あらゆる角度から進めていく必要があると考えています。

Q 6次化というのを考えるべきで、そのためには核になる中核農家を大事にしなければいけないと前に尋ねたときに、町長はまさに同感だとう言い方をされました。国でも今になつて中核農家に対しては割り増し補助をしますよといふよう

(町長) 機械利用組合の関係での取り組みとか、ソバ刈り取り機械、乾燥施設、菜種の奨励もしているので、それらをうまくコ

売方法、直売所を充実し、会員の募集継続と、現在ある直売所、軽トラ市による地産地消の推進、また物産・観光トライアル事業やＪＡの会津青果を窓口とした関東圏への直販事業等、あらゆる角度から進めていく必要があると考えています。

ビネーションを組んでやつていけないかということであり、6次化の方針として、生産、販売、加工という面も含めながらそれに取り組むよう、今内部で検討して来年度予算に反映させたいという思いです。

てその場で宣伝を兼ねながらやっている事業です。今回は大変な農林振興班の努力によって、かなり生産者から野菜類が首都圏に向けて出荷されています。評判が、柳津のトラックが行くとおろすのを待っているくらいに

A (町長) 当面地
域における地産地
消戦略の方針と、それに
基づく直売所の強化やネット
ワーク化、加工による
高付加価値化、学校給食
等への地場農産物の安定
供給などの取り組み、ま
たこれらに必要な直売所、
加工処理施設の整備が必
要かと考えています。起
業者を募り、国、県の制
度利用と町のバックアッ
プにより、加工販売施設
と観光集客施設の両面を
備えた施設として整備、
支援をしていくことを考
えています。幅広く制度
のPRを行いながら、販

消法を成立させました。
これを機に、町長は農業
の6次化をどのように進
めるのか伺います。

Q 6次化というの
は農業のほうから
考えるべきで、そのため

卷之三

大好評であつたという事

A 域における地産地
いと前に尋ねたときに、
消戦略の方針と、それに
基づく直営所の強化やネット
ワーク化、加工による
高付加価値化、学校給食
等への地場農産物の安定
供給などの取り組み、ま
たこれらに必要な直売所、
加工処理施設の整備が必
要かと考えています。起
業者を募り、国、県の制
大事にしなければいけな
い町長（町長） 当面地
域における地産地
いと前に尋ねたときに、
町長はまさに同感だとい
う言い方をされました。
国でも今になって中核農
家に対しても割り増し補
助をしますよというよう
なことを言っていますが、
町も23年の予算の中で、
何かしら考えていること
があつたらお聞かせ願い
たいと思います。

A 物産・観光トライアル事業はどのような取り組みをされたか。町のいろいろな特産品の宣伝をインターネットや会社内の広報紙などで行つたのかどうか。いろんな取り組みがあつたとすれば、その事例を教えていただきたいと思います。

柳津町の宣伝に力を入れていただいています。あのリストが、かなり韓国など国際的な誘客入り込み数が増えてますので、それらをまた来年度活用して柳津町の宣伝の効果を高めていきたいと、いう思いをしています。



軽トラふれあい市（10月24日）



7番 荒明 正一議員

異常気象に対する 農業政策の確立

う3年間で暗渠排水整備をするということですが、その面積等の計画、予算等の計画、どのような方針でこういう計画を持つていているのか伺います。

いくくらいの、収穫したものを販売したり利用したりする役割を果たしてもらう体制を整えていくことが必要だと思います。振興公社がいろんなルートを使っていけば、さら

銀山の煙突の保存と県道 会津若松三島線の改良

県道会津若松三島線の改良は、軽井沢から銀山は約100メートルとなりましたので、順調に予算が計上されれば、今後1、2年で銀山集落手前に接続する予定です。

銀山の煙突の保存と県道 会津若松三島線の改良

県道会津若松三島線の改良は、軽井沢から銀山は約100メートルとなりましたので、順調に予算が計上されれば、今後1、2年で銀山集落手前に接続する予定です。

- 異常気象に対する農業政策の確立
- 銀山の煙突の保存と県道会津若松三島線の改良
- いじめと自殺と人間の生き方における教育の在り方

農業政策の確立 異常気象に対する
今年の夏の酷暑と秋の長雨等による種々の被害に対し、町も補正予算で対応した面があります。より根本的な解決策として、水田の輪作可能な環境づくりと農産物の適地適作の理念の上から、転作におけるソバの栽培を減らす方向で取り組むべきではないかと思うがどうか。

A 暗渠排水は、1反当たり約15万という予算を計上したいと思っています。そのうち8割が町補助ということで考えています。ですから、1反12万円ほど掛かります。まだ面積的には取りまとめはしていませんが、希望をとつて、これから確定していくたいと思っています。

Q 町の農産物、タマネギとか菜種油とかを使つた商品の詰め合わせセットが発売されています。そういう計画をこれから立て、菜種なり生産目標をきちんと決めた上で取り組んでいく必要があるのでないのか。そのためには、振興公社が核になつて、柳津町の農業を引っ張つて

う3年間で暗渠排水整備をするということですが、その面積等の計画、予算等の計画、どのような方針でこういう計画を持つてているのか伺います。

（副町長） 加工品の流通販売等で振興公社が核になつてやつていつたほうがいいだろうというご指摘です。町としても当然そういう指導をしていくのも必要なことだと思つています。ですが、振興公社も経営体質が脆弱なので、今のところ投資に向けられる部分がなく、営業収益が、その年の人件費や仕入とかとツ一ペイしているのが現実です。

本当にあれば、もっと投資の面に向けて、そういう部分までやっていけば、振興公社も地産地消の受け皿として育つていくのが一番いい姿なのかなと思っています。

A 振興公社がいろんなルートを使っていけば、さらに力を發揮することができるようになるのではないかと私は思います。副町長、どうですか。

Q 銀山を取り巻く環境は大変大きな関心を広げ、煙突の保存に大きな関心が持たれています。保存に向けて大きく前進すべきだと思うがどうか。とともに、若松三島線の銀山地区の改良を強力に推進すべきと思うが、その現状と将来展望を聞かせていただきたい。

県道会津若松三島線の改良は、軽井沢から銀山は約100メートルとなりましたので、順調に予算が計上されれば、今後1、2年で銀山集落手前に接続する予定です。

Q 資源化に該当になると思います。それから福島県地域づくり総合支援事業からすると、一般枠で広域的な視点と先駆的な事業ということに当たるめられるのではないか。町の財政にも大きな負担となるということですが、銀山について本を書いた方の話では、べらぼうに金が掛からなくともできるのではないかというような話でした。今後町としてどのような手順のもとに煙突の保存に取り組んでいかれるのか、改めて伺いたいと思います。

A (町長) 上から5メートルくらいはかなり大変危険な状態です。ただ、保存をしていくには、あの現状で復

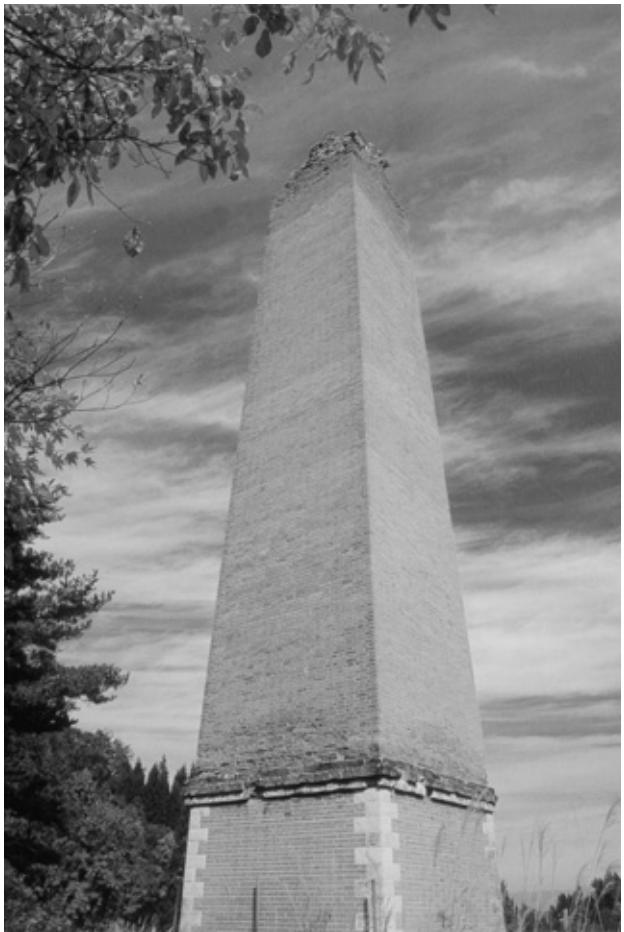
後で想ひ、少しおもひ保つ。かく一年をさうして、前後十日出で

8

一般質問

県道会津若松三島線ですが、残り100メートルということがあります。振興課長によくお願いしたいことは、去年の今ごろの銀山を取り巻く状況と、今年今現在の銀山を取り巻く状況と、今年度変わつていては180度変わつていています。

いじめと自殺と人間の生き方における教育の在り方



軽井沢銀山の煙突

行政の中でも最も重要な事柄です。特に子供のいじめと、それに関係すると言われ裁判にまで発展している自殺との関係について、どのような考え方を持っておられるか。

いじめは被害者が仕返しを恐れてだれにも話さないことが多い、表面に出にくいう特徴があるので、学校や家庭ではどんな小さな子供の変化も見逃さず、いじめの早期発見に努めるとともに、子供が安心して相談できる体制をつくることが必要であると考えます。そして、他を思いやる心や困難に負けない強い心、

い。銀山峠を歩いていた
だきまして、峠道を歩き
ながら、あの遺産を柳津
のものにこれからきちっ
と残していくべきだとい
うようなお声はまさに誰
しもが絶賛すると思って
います。そういう中で、
危険度、そして後年度の
対策としても十二分に考
えた上で対応しなければ
ていません。

A (地域振興課長) 荘明議員がおっしゃつ
たとおり、昨年度と今年
では180度も銀山の様
子が変わってきています。
この件は、会津若松建設
事務所をはじめ県の関係
者が理解を示しています
ので、さらに要望活動等
を強めていきたいと思つ

しい事件が後を絶たず、大きな社会問題となっています。子供にとって安心安全で楽しい場所であるべき学校で、このような事件はあってはならないことであり、子供を取り巻くいじめの現状を深刻に受けとめ、その対応を真剣に考えなければなりません」と思つております。

元をする場合には価値はあると思います。あれをいろんな接着剤やいろんなことで取り組めば、大きな遺産としての価値がなくなるということです。これからそばにはなるべく行かないよう、危険個所ですので、きっちりいます。

ですから、県当局に対しての要望でも、さらに強力に推薦していくは少なくとも今年度の残った100メートルぐらいの予算は、確実性はあるだろうとします。課長としてどのような見通しか伺

また、我が町ではそのような心配はないのか。私はその根本的な解決には人間としてのそれぞれの生き方にあると思いますがどうか。

命を大切にする心など、豊かな心をはぐくむとともに、いじめは絶対に許さないという正義感を学校全体に広め、豊かな人間関係を醸成することに、最も起り得るものとの認識の下に、絶えず各学校と連絡を密にし、いじめは絶対に許さないという正義感を学校全体に広め、豊かな人間関係を醸成することに、期対応に努めていきたいと考えています。

よりいじめは防止できるものと考えています。

現在、柳津町ではいじめについての報告はありませんし、そのようなお話しも伺っていませんので、多分ないかとは思います。が、小さいものはあるかもしれません。

教育委員会では、いじめは、どの学校にも、どのクラスにも、どの子供が、当局としてどのようにして対応したり疑問に思ったりしている方もおられます。町民の中には転入して来られた方々が数多くおられます。それらの方々の墓地の管理状況がどのようになっているか、町民の中にも心配したり疑問に思ったりしている方もおられます。

Q 転入者の墓地問題

にとらえているのか、見
解を伺います。

A (町長) 墓地は、各行政区での管理

元をする場合には価値はあると思います。あれをいろいろな接着剤やいろんなことで取り組めば、大きな遺産としての価値がなくなるということです。

ですから、県当局に対しても、ての要望でも、さらに強力に推薦していくべき少ないとも今年度の残った100メートルぐらいの予算は、確実性はあるだろ

また、我が町ではそのような心配はないのか。私はその根本的な解決には人間としてのそれぞれの生き方にあると思いますがどうか。

命を大切にする心など、豊かな心をはぐくむとともに、いじめは絶対に許さないという正義感を学校全体に広め、豊かな人間関係を醸成することに、最も起り得るものとの認識の下に、絶えず各学校と連絡を密にし、いじめは絶対に許さないという正義感を学校全体に広め、豊かな人間関係を醸成することに、期対応に努めていきたいと考えています。

にどちらえているのか、見
解を伺います。

